

# Newsletter

株式会社日立ソリューションズ <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

今月号のキーワード 重要文書の流出対策と大容量データの海外への高速転送

## 特集

### 日立ソリューションズのコンテンツ活用ソリューション「活文」

「活文シリーズ」は、ビジネスシーンにおいて活用機会が多い、PDFなどの電子コンテンツフォーマットを主軸とし、その運用を最適化する8つの製品・サービスを時代のニーズに合わせて提供してきました。

2005年の提供開始以来、多くのお客様に提案・導入し、2011年6月に売上累計100億円を突破しました。ここでは、お客様のコンテンツ活用状況に伴い変化する要望に、柔軟に対応してきた「活文シリーズ」の全体概要と、注目の「活文 NAVIstaff」、および最新の「活文 デジ活ワイド」についてご紹介致します。



#### 三宅 立記

システムプロダクト事業部  
運用管理システム本部  
活文部  
部長

#### ■市場ニーズに合わせて成長してきた「活文シリーズ」

コンテンツ活用ソリューションの中で一番古い製品は、「活文」が発足する10年以上も前に遡ります。1990年代半ば、基幹システムから出力される帳票データは“紙”が主流でした。日立ソリューションズは、お客様の帳票データを電子化し、ネットワークで送信したい、帳票データをパソコンに表示し、オートプリントして加工できるようにしたいといったお客様からの要望に応えるため、さまざまな業務システムより出力される帳票運用の自動化と保存・管理を実現する電子帳票システム「ReportMission」を1994年に開発、提供開始しました。2005年には、「活文 ReportMission」として「活文シリーズ」のラインアップに追加され、現在も電子帳票システム市場では有数のシステムとして注目されています。

その後、インターネットの普及と共に注目が集まっていた、電子文書の標準形式であるPDFに着目し、企業ユースの高品質なPDF変換サーバー「活文 PDFstaff」を2004年に提供開始しました。「活文 PDFstaff」は、同時期に制定されたe-文書法による電子文書の普及加速もあり、業種を問わず非

常に多くの企業に採用され、好評いただいている製品です。

また、2005年の個人情報保護法施行以降相次ぐ、企業の情報漏えい事故を防ぐ新たな手段として、2007年に電子文書そのものにセキュリティを設定することで、閲覧者、操作範囲を制限して公開できる「活文 NAVIstaff」を提供開始しました。最大の長は、電子文書に設定したセキュリティの内容を、手元から離れた後でも変更できる点です。万が一情報流出事故が起きた場合にも、拡散した電子文書のアクセス権を作成者が変更し、閲覧を停止させることで、情報流出を最小限に抑えることができます。

その画期的なセキュリティ機能に対する市場の反応は高く、ビジネス文書のみならず、3Dデータへの対応要求が数多くあり、3Dデータ(XVL形式)を同様に高度なセキュリティ機能で情報流出を防止する「活文 XVLstaff」を、同じく2007年に提供開始しました。さらに、SaaS型への対応要望を受け、XVLデータのセキュリティ対策をSaaS型で実現する「活文 デジ活ガード」のサービスも開始しています。

昨今は、リーマンショック後の不景気、大震災、急激な円高の影響を受け、製造業を中心とした多くの企業が海外進出を本格化しており、海外地域とのデータの送受信が激増しています。データの容量は、ギガバイトを超えるサイズの場合もあり、新興国などの通信インフラが未整備な地域とのデータの送受信に時間がかかる課題を解決すべく、2010年には、「活文 デジ活ワイド」の提供を開始しました。

他にも、マニュアルや規定集などの文書作成をWEBインターフェースで支援する「活文 DocProducer」や、基幹帳



図1.「活文シリーズ」ラインナップ

票のマイグレーションを検討する企業の要望に応えた、「**基幹系プリントソリューション**」も提供しています。本ソリューションは、電子帳票システムにおけるプリント周りや帳票開発などの課題を解決したノウハウを蓄積し、誕生したソリューションです。基幹系の帳票出力業務において、コスト削減の実現、運用の効率化はもちろん、最適なオープン環境への移行提案などお客様環境にとらわれず、さまざまな課題に対応できるサービスです。

以上の8つの製品・サービスから構成された「活文シリーズ」(図1)は、文書管理システム「ラビニティシリーズ」や、無駄なくファイルサーバーを管理できる「MEANS」などと連携することで、企業の文書ライフサイクル全般の効率化を支援します。

以降では、「活文シリーズ」の中から「活文 NAVIstaff」、  
「活文 デジ活ワイド」についてご紹介します。

### ■ドキュメントセキュリティ市場を牽引、ここまでできる「活文 NAVIstaff」

「活文 NAVIstaff」は、機密情報文書自体にセキュリティーを設定し、そのセキュリティーを手元から離れた後でも変更できるため、情報流出リスクを低減できる製品です。万が一の場合には、手元から離れた文書の閲覧を停止できるため、日立グループ全体で35万人の導入を始め、多くの企業で採用・評価されています。「活文 NAVIstaff」が提供するIRM(Information Rights Management)と呼ばれるセキュリティー分野においては、その機能はもちろん、安定かつ使い易い運用面においてもお客様の評価は高く、現在、国内でも10万人を超える大規模運用を実現している企業は他にありま

せん。「活文 NAVIstaff」は、信頼性の高いAdobe社のサーバー製品を組み込んでいるため、保護した文書を開く際は、毎回サーバーへ問い合わせを行い、閲覧可否を確認することができます。これにより、最新のアクセス権限で認証できるため、高いセキュリティーで文書を守ることができます。

最近では企業の海外進出が急増し、保護する文書の対象が、個人情報や見積書などの営業機密を含む文書から、技術文書(知財情報である設計書や仕様書など)まで広がっ

ています。セキュリティー意識や文化が異なる海外の取引先へ、重要な技術情報を提供する際には、手元から離れた後の文書の閲覧権限のコントロールは不可欠です。必要な取引期間のみ閲覧を許可し、取引が完了した際には、閲覧を停止します。これにより、重要な技術情報の流出を防止することができます。(図2)



図2.海外進出企業の技術文書不正流出の問題

### ■製造業の海外進出を支援するために、2010年新たに市場投入した「活文 デジ活ワイド」

現在、多くの製造業が、ビジネススピードの加速、コスト削減、販売地域の拡大を目的に、海外拠点との連携を強化しています。その目的も、今や生産拠点到留まらず、設計拠点へと本格的にシフトしており、データの受け渡し回数、やり取りするデータ自体の容量も増加しています。しかし、海外拠点の多くは、通信インフラが未整備である新興国(東アジア地域など)に位置するため、データの送受信は失敗・遅延が多く、国際専用回線などを用意しなければデータのやり取りが成り立たず、課題を抱えている企業が多いのが現状です。



日立ソリューションズはこの課題解決に向け、海外地域への大容量転送に特化したサービス「活文 デジ活ワイド」の提供を開始しました。「活文 デジ活ワイド」は、通信回線の品質が悪く、物理的に距離がある新興国などの海外地域でも、インターネット回線が利用できる環境であれば、大容量データを安全かつ高速に転送することができます。(図3)



図3.「活文 デジ活ワイド」概要

2011年4月には、大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社様が「活文 デジ活ワイド」を導入し、これまで5時間かかっていた海外拠点への大容量データの送受信時間を数分に短縮することができました。海外拠点とのデータ送受信を頻繁に行う同社では、グループ全体で1カ月あたりの転送に要する時間を200時間削減でき、開発を効率化することができたと、大変好評をいただいています。

その他、日立グループを含め海外拠点を持つ製造業を中心に数多くの企業で採用されています。

### ～主な特長～

#### 1. 多重通信技術による大容量データの高速転送

通常のHTTP通信と比較し、大容量データを細かく分割し、複数のHTTPS通信で転送できる技術を採用しています。このため、高速、かつ途中で途切れにくいデータ転送を実現しています。

### ■これまでの関連リリース

- ・タイの洪水被害に対する企業向け支援サービスについて  
「SecureOnline 在宅勤務サービス」と高速データ転送「活文 デジ活ワイド」を無償で提供(2011年11月22日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/2011/1122.html>
- ・「活文 デジ活ワイド」が市光工業のCADデータ転送システムに採用(2011年9月28日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/2011/0928.html>
- ・日立ソリューションズがBSP の帳票ツールをラインアップに加え「プリントソリューション」を強化(2010年8月3日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/soft/archive2010/news100803.html>
- ・製造業向けグローバル高速転送サービス「大容量高速転送サービス 活文 デジ活ワイド」を提供開始(2010年6月3日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/soft/archive2010/news100603.html>

### 2. SaaS提供のため初期投資を抑えて利用開始

高価な国際専用線敷設はもちろん、特別なソフトウェアやハードウェアを新たに用意する必要がなく、既存のインターネット回線を利用するだけで大容量データの送受信を実現します。

### 3. 安全なデータ受け渡しの環境を提供

HTTPSでの通信保護により、安全なデータの送受信が行えます。また、クライアント認証、上長承認、監査ログを始めとした、企業ユースに不可欠なセキュリティー対策を実装しています。

### ■お客様の声に真摯に耳を傾け続け、売上累計100億円を突破

お客様の声に耳を傾けながらの地道な提案活動と製品開発、およびパートナー戦略が実を結び、2011年6月には「活文シリーズ」売上累計が100億円を突破しました。

「活文シリーズ」は、これまで多くのお客様に採用いただいております。導入業種も多岐にわたります。

今後、日立ソリューションズは、以下の3つの柱をベースに「活文シリーズ」を更に展開していきます。

3つの柱	主要製品・サービス
コンテンツ統制システム	「活文 NAVIstaff」 「活文 PDFstaff」
SaaS型サービス	「活文 デジ活ワイド」
帳票ソリューション	「活文 ReportMission」 「基幹系プリントソリューション」

表.「活文シリーズ」3つの柱

今後も、高度な電子コンテンツの利活用を促進すべく、市場の需要を見極めて製品・サービスを提供していきます。2014年度には、「活文シリーズ」全体で累計200億円の売上を目指します。

# 最近のニュースリリース

当社の発信したニュースリリースの詳細は、当社ホームページの以下URL  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/> でご覧いただけます。

## ■薄型・軽量のモバイル向け指静脈認証装置を販売開始

モバイルPC利用時における高度なセキュリティーと利便性を実現

## ■ファイアウォールログ解析製品の最新版を販売開始

標的型サイバー攻撃によって外部へ情報を漏えいさせるバックドア通信を早期に発見

## ■複数のシステムを組み合わせ、オフィスワークを改革するソリューションを提供

第一弾として、インタラクティブホワイトボードと文書管理システムの連携で会議の効率化を支援

## TOPICS

### 障害者福祉施設で製造された商品の特設販売会「1 Day Shop」と「講演会」を開催

障害者福祉施設で製造された商品の特設販売会「1 Day Shop(ワンディ・ショップ)」と、精神疾患や障害者雇用に関する理解を深める講演会を組み合わせたイベントを1月17日に開催しました。

日立ソリューションズは、2007年8月より、障害者自立支援法に対応した障害者福祉サービス事業者向けの請求業務システム「MediStyle/自立支援請求ASP」を提供しており、本サービスを導入いただいている福祉施設と連携して、商品製造を行っている障害者の方々を支援し、社会福祉における貢献を果たすことを目的に2009年から「1 Day Shop」を開催しています。

本年は、身近な問題である精神疾患に関する理解を深め、福祉施設で働く精神障害者の現状、セルフケア、多様な働き方を考えるということをテーマに、「1 Day Shop」の背景紹介に加えて、「うつ病・気分障害協会(MDA-JAPAN)」理事の山口律子氏をお招きし、「その人らしさに目を向けよう～共に生き、暮らすために～」と題して講演いただきました。また、株式会社日立製作所勤労部の藤原 敏氏からも、精神障害者の就労問題と日立的取り組みについて講演いただきました。

当日は、14の障害者福祉施設より出店いただき、厳選素材を使用した焼き菓子、手作りジャム、玩具などの木工作品などのさまざまな商品が販売されました。講演会は68名、販売会には200名を超える社員が参加し、各障害者福祉施設の方々と触れ合い、精神障害者の現状、就労について理解を深めました。



販売会の様子



講演会の様子

商号	株式会社 日立ソリューションズ
本社事務所	本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号 本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号 Tel: 03-5780-2111(大代表)
設立年月日	1970年9月21日
従業員数	13,409名(2011年9月30日現在、連結)
事業内容	業務コンサルティング、ITコンサルティング、システム設計、保守、システム運用、システム開発のライフサイクルを一括してサポートするワンストップサービスを提供
主要製品	機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」、就業管理システム「リシテア」、指静脈認証システム「静紋」 Juniper Networks製品、電子ドキュメントトータルソリューション「活文」、インタラクティブ電子ボード「StarBoard」 エンタープライズ型地理情報システム「GeoMation」 統制IT基盤提供サービス「SecureOnline」 JP1ソリューションサービス 他
認証取得	ISO9001、ISO14001、ISO27001
主な子会社および 関連会社	日立ビジネスソリューション(株)、(株)日立ソリューションズバリュー、(株)日立ソリューションズデザイン (株)日立ソリューションズサービス、(株)アイネス、(株)ビジネスブレイン太田昭和、(株)DACS